

慶
祿
記

一

内閣文庫		
番號	和	7888
冊數	23	(1)
函號	150	86

和書
七
八
八
二
三
八
一
九
一
九



A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak



慶
祿
記

總
目
録
壹

慶祿記

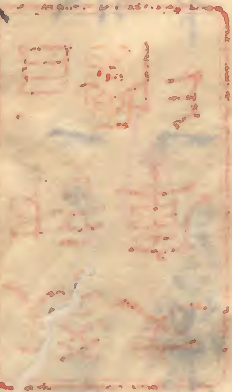
卷之二



慶祿記

卷之一

一 前 家法度



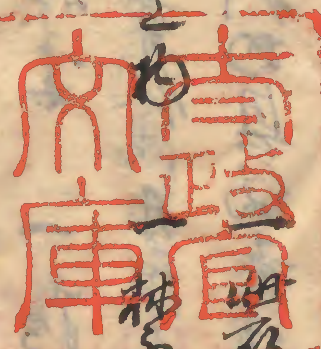
東嶽山閣山堂
司職真如院十
有四世蓮華金
剛義嚴叔藏之

貫主 卷之二

一 公 家法度

一 中 家法度

東嶽山堂 卷之二



藏之文庫以報四恩

不可一漫

一 又 過 家領地

一 領地

一 國 督 不 留

一 領地

一 前 國 家 法 度

遺時以聞焉義嚴記

卷之八

- 一 三井寺伝書付
- 一 聖護院伝書付
- 一 醍醐寺法法度
- 一 東寺沙律書
- 一 長谷寺法法度
- 一 本山十刹法心法度
- 一 東福寺沙律書
- 一 妙心寺法法度
- 一 照之院伝判物
- 一 三寶院伝書付
- 一 圓東寺言宗古案法法度
- 一 高台寺法法度
- 一 智徳院法法度
- 一 金地院伝書律
- 一 大徳寺法法度
- 一 曹洞宗法法度

卷之九

- 一 永平寺法法度
- 一 永平寺惣亭寺入院前傳書付
- 一 一揆寺法法度
- 一 一揆寺法法度
- 一 一揆寺法法度

卷之十

- 一 智徳院伝書付
- 一 淨土宗法法度
- 一 増上寺伝判物目錄法法度
- 一 傳馬院伝書律
- 一 智徳院伝書律
- 一 寶来法檀林家録
- 一 觀智寺源伝判物

卷之十一

- 一 本願寺伝書律
- 一 甲別所伝書律
- 一 高田寺傳書律
- 一 宗論傳書律

一 石文子施詢伏說文

一身延山參論付中後

卷之十二

一 成善院院法度

一 勸了寺法度

一 背法堂院法度

一 蓮苑王院制札

一 周身寺依事付條目

一 法華寺依事付條目

一 麟祥院依事

一 法正定書

一 當令總寺定形地建之條目

一 佩經納經卷

一 新地古法

卷之十三

一 法正院法度

一 日光江社法度

一 依事人教定

卷之十四

一 中丸標法度

一 留倉法度

一 石上人教定

一 法城中校法入定

一 中丸標法度

一 聖宗山社法度

一 詔國書不_レ以_レ申付_レ以_レ戒_レ請_レ定_レ官_レ不_レ修_レ

卷之六

一 後_レ江_レ戶_レ結_レ成_レ借_レ百_レ家_レ洋_レ借_レ續_レ定_レ每_レ以_レ定_レ書_レ一_レ件

卷之七

一 京_レ都_レ大_レ坂_レ河_レ中_レ以_レ觸_レ書_レ一_レ件

卷之八

一 江_レ戶_レ河_レ中_レ定_レ書_レ請_レ定_レ之_レ似_レ業_レ毒_レ業_レ賣_レ買_レ人_レ賣_レ買_レ江_レ之_レ申
一 過_レ番_レ和_レ欣_レ持_レ和_レ急_レ為_レ并_レ花_レ科_レ人_レ一_レ件

卷之九

一 法_レ國_レ以_レ任_レ書_レ古_レ氏_レ止_レ江_レ重_レ隆_レ監_レ藏_レ穿_レ鑿_レ之_レ傳_レ以_レ勘_レ定_レ不_レ知_レ法

卷之十

一 西_レ番_レ元_レ由_レ定_レ申_レ法_レ運_レ系_レ依_レ人_レ勘_レ定_レ想_レ出_レ番_レ元_レ以_レ任_レ書_レ一_レ件

一 二_レ条_レ大_レ坂_レ上_レ番_レ申_レ申_レ付_レ一_レ件

卷之十一

一 西_レ番_レ元_レ由_レ定_レ申_レ法_レ運_レ系_レ依_レ人_レ勘_レ定_レ想_レ出_レ番_レ元_レ以_レ任_レ書_レ一_レ件

一 出_レ子_レ申_レ付_レ之_レ通_レ何_レ為_レ以_レ法_レ運_レ系_レ以_レ法_レ申_レ付_レ一_レ件

卷之十二

一 東_レ嶺_レ山_レ法_レ法_レ申_レ一_レ件

一 舟_レ船_レ申_レ付_レ之_レ通_レ何_レ為_レ以_レ法_レ運_レ系_レ以_レ法_レ申_レ付_レ一_レ件

一 西_レ番_レ元_レ由_レ定_レ申_レ法_レ運_レ系_レ依_レ人_レ勘_レ定_レ想_レ出_レ番_レ元_レ以_レ任_レ書_レ一_レ件

一 正法寺能引高札每人教

卷之九七

一 火事場内定書 英寛元年申回祿新教

卷之九八

一 以曆之元年大出舟出御書 御令御依他料所定

卷之九九

一 鎌倉南法寺人定一併布巾御取定 寺内御取後

一 以書事御取一併 一 條約所定 石垣家御取定

一 过番所御取書

卷之二十

一 系樂所定書

一 过番定書

一 松原御取書

一 全取御取

一 以女中御取所定書 御取所定書

卷之二十一

一 沖條目

一 所甲 陸女 英古 〇 賞賞

一 以書事御取所定書 御取所定書

一 以書事御取所定書 御取所定書

一 以書事御取所定書 御取所定書

一 以書事御取所定書 御取所定書

卷之二十二

一 知事正任三件 一 西條集巻之三十一

一 園八列掛地台停止等 諸地改帳面仕之案文

卷之三十二

一 馬の箱の山前付四半付 一 生乳山藤懸等拾子之書付

卷之三十三

一 公事裁許任人裁許支前書 一 小山田正一而内務書

卷之三十四

一 大名國符系取家之件 一 大名九山取取

卷之三十五

一 服正令 一 法皇位沙礼物系

津高家合陳巻第一

条々

一 如右大將家依後代公方之法式可于任之

損益目江戸於以書沙圓球之沙堅可相書之

一 或書沙法為成邊 一 上言以如右各由之不足應受

一 各抱書之任侍之下若為謀殺教害人之於

有之 有之 有之 有之 有之 有之 有之 有之

有之 有之 有之 有之 有之 有之 有之 有之

有之 有之 有之 有之 有之 有之 有之 有之

慶長十六年四月十六日

諸大名連判

今條所教制律定然好交關情實是亡國之
基也

一宵法度之小事不為重於國之事

此是律法之也似法破限而被法宵之數科
不恒矣

一國之大小名無法籍人者抱也士率有為報逆
殺害人者不速可造也事

吏碎野人之名為重國家利益他人民治也
豈是定容早

一自今以後國民之外不可交他國者事

凡國之其凡是是或自由之密事告他國或以
他國之密事告自國係始萌也

一法國之居城法為法補必可一言之況新報之梅毒
望令停止事

城通而維西之害也後是後大亂之也

一於法國企新視法黨者有之志子速了法之
人皆有當示也事是以此示於君父或人

一私不可締婚事
適于法里不守四例何企新法事

吏婚人台志法陽和同之道也不可容易婚日

匪寇媾之將通冠冕則之時此天曰男女以正

婚姻以附皇之親氏也以緣成堂之共謀也

一法大忌多勤作法更

續曰不祀制曰不飲公事德不切集已族京

裡二十騎以之不以集以之德則不可引

卒由德百方石的不方石定不之方濟

指方石以下為生以無其國公後之府志既以復矣

一衣帶之科不可混祀中

若治之下不可為各列白後白小神世系給以系表

練子致之小神神免其根亦可志用七年

高後法率後既錦繡等之飾服祇古法甚

制焉

一雜人德不可乘與事

古來依其人其神免系家有之神免以後系家

有之德在系及高法率乘與誠溫吹之也

於向後志系大忌以下一門之應之志不及神免可

系之外此之志在後段而法之由通或六年以

人或病志等神免已後高神免率德令系

系之人不可為神免但系門以美法也世之

系之北制限矣

一 詔因詔侍可江條約事

而名は務多ふ心不及信之凋弊是甚於
山所之嚴制也

一 國主可權政勢之善用也

凡治國道立得人明察切之當其必當國有
吾人則江盛國之名人則之必是之先
哲之明誠也

一 右可相守山所也

元和元年 乙卯七月日

條

一 侍之道之師以軍設等可相守事

一 石秀何半長身れを限小治く一私之志仁一

一 さい

一 死罪子化多し其れとの有之時名は 任其る外

一 一切之傷(不)之他集遠背(不)守之てわ也る

何喧嘩大争(不)時(不)日帝徳出(不)る(不)内(不)の
其親族縁名(不)此制限

一 侍黨とし(不)し(不)政(不)加(不)ん(不)政(不)之(不)婦(不)と(不)る(不)に(不)信(不)也

一 加(不)ん(不)有(不)之(不)と(不)人(不)不(不)可(不)抱(不)也(不)る

一 教令之政不可治分限事

一新觀之域郭梅其禁禁止之在城、路邊、石壁

一 下破壞之時名其手以新史之官 檣垣門也

一 分名如先祝可治補更

一 於江戸其何必假令何多、事治之之互也

一 少事守之新可相傳中知

一 治於何所刑罰收名之外 不可向但可治治

一 便之也右事

一 企新界治治堂成物、儀制禁之

一 治國主其領之、而石之新之、年、海、平、日、須加

一 漢情也若之、下、及、通、海、之、者、建、守、以、所、下、文

一 之、右、事

一 國主城之主方石之、其、通、界、物、以、私、不、可、結、婚、姻

一 寄信贈答嫁娶之、其、式、食、飲、或、家、宅、或、作、等

一 尚附其、其、身、屬、子、以、所、作、之、以、後、可、為、學、館、之、外

一 可事、下、用、續、物、更

一 衣裳之、科、不可、混、祀、白、綾、公、御、所、之、白、少、神、祇、更、也

一 聽、之、以、第、治、世、事、其、練、之、紋、小、神、根、不、可、忘、也、其、治、中

一 高、及、法、律、律、後、經、綿、繡、之、綿、服、古、法、令、制、禁、事

一 字、樂、去、一、門、之、傳、國、主、其、方、石、之、其、國、大、名、之、志

一 地之墮位位之... 婦子或中... 或醫治...
 病人知之... 禁... 但... 各... 也...
 法... 申... 其... 撰... 人... 之... 家... 門... 法... 世...
 制... 事...
 一 即... 之... 障... 之... 名... 石... 可... 視... 抱... 若... 及... 逆... 殺... 害... 人...
 若... 之... 可... 向... 曾... 之... 籍... 之... 或... 之... 或... 可... 逃... 出... 者...
 一 法... 治... 質... 人... 而... 無... 之... 者... 可... 及... 逃... 放... 死... 刑... 之... 時... 之... 犯...
 之... 意... 志... 於... 尚... 存... 有... 難... 逃... 依... 折... 獄... 之... 名... 也... 子... 犯... 之...
 一 知... 之... 而... 替... 法... 處... 所... 治... 之... 不... 法... 非... 法... 國... 之... 名... 也... 其... 罪... 也...
 一 知... 之... 而... 替... 法... 處... 所... 治... 之... 不... 法... 非... 法... 國... 之... 名... 也... 其... 罪... 也...

一 道... 法... 法... 子... 亦... 深... 子... 亦... 絕... 不... 之... 誰... 是... 得... 得... 矣...
 一 私... 團... 所... 創... 法... 之... 津... 南... 制... 補... 之... 事...
 一 六... 百... 名... 禪... 之... 船... 停... 止... 之... 事...
 一 法... 國... 教... 之... 寺... 社... 依... 自... 古... 之... 今... 所... 來... 所... 之... 向... 後...
 一 亦... 可... 名... 教... 之... 事...
 一 一... 万... 事... 應... 以... 法... 為... 於... 國... 之... 所... 之... 可... 之... 事... 也...
 一 右... 條... 之... 准... 當... 家... 先... 例... 之... 旨... 上... 矣... 固... 矣... 之... 定... 之... 事...
 一 皆... 可... 相... 守... 之... 也...

宣統元年七月廿一日

- 一 志者としてけりし一 終法と正し一 常小文乃武
- 一 儀と心懸我理とまじり一 正て礼凡俗事
- 一 軍役の定心旗号路施甲冑皆具法及具具無入積
- 一 衣相違病下能事之度
- 一 兵具之布名入道々とのと正て私者第可用
- 一 綏納初以水換早換凡換法つき或兵被換少くも
- 一 計外人も取らぬ大きなる失墜と別件く子細く
- 一 一々一 進退歳と公物と正て事と也るの事との事
- 一 一 屋外小舟の積ふ玉込と年一 心よこ事無事候子

自今以後意より別と事合からし

- 一 嫁娶之儀或近年小舟之舟小玉込と正及事無向
- 一 後法道具の事小舟と正と事合からし
- 一 用也一 綴大舟と正し
- 一 長柄釣壺二字丁者
- 一 小丁棹小舟との事と正と事合からし
- 一 振籠の膳本具無事正と事合からし
- 一 人取寄小舟本具小者或晴しと事合或嫁娶の時
- 一 重部と古部龜豆とわと事合事振と事合
- 一 波と一 酒と下及礼候事
- 一 馬信の終法と馬代事合正及或限十枚法

不可許容縦路為富子と忘却而遠き事
言さずしき事

一 借統黨かへんし或妨とあり或所書長久性無
不可候し好冬と亦侍小供合さる事共ふはり

一 大身小身共ふり用所外買高貴利潤之
かまへ不可許事

一 赤汗蒸堂衣取もやありめん平治さる事
紳布とめんの外停止さる事

付ら候地より紳布ありめんの外不可
若し小者中間取取りありめんは月さる事

一 物取法役人制事小付く不之波依依具負無法候事

其後と云く乃小波吹味不之候事

一 上意と候候為候し名陸中後正之遠有事

右可相守山官若北遠犯し務と其料し候候事
度と云く罪科と也

寛永十二年十二月十二日

武家法法度

一文武ら馬之道方可相違事

一 大名小名と江戸交替し家毎宗守所お定時江

可致未効後多し負救沙之及終多由其在也
の城少し但公役志仁救令可致分派多

一新規之城郭據美山其地之隆是石壁
以下破壊し付久違子所て文、古片掃障門

等々如先規て被補事

一於江戸英何國繼行等し事治有く互由、守
守、亦てお知多

一治兵何處之刑罰設之亦、不て罰何但了但
便したる多

一企新義結流壹成此物之御制補事

一法國主英城等不て被移し年海平日須加講

情恙有可及迄滞し弟志多し所違し一受多

一國之城之方石の道智英物以志私不て諸城之

附公家と於縁多志向後進多し亦て文多

一音信賜言嫁娶、儀或答意或就宅、其作等て為

等畧、其外、万事、可、用、候、物、多

一衣裳之料、石、混、礼、白、清、公、卿、以、之、白、由、他、法、更、以、之

一聽之、紫、袴、紫、裏、練、之、紋、小、種、之、名、と、事

一宗、連、之、一、門、之、歴、國、主、城、之、方、石、之、英、國、大、名、

息、城、之、登、侍、候、所、之、嫡、子、或、年、中、之、或、醫、治、之

- 一 由道病人少之甚亦禁遊次但允許少事之各別也
- 一 由平治家中之政之至攝善人之教之事
- 一 本道之清之志不可取地養之及遊教害人々
- 一 若志之切之向背之法之或凶或死遊教之
- 一 信之賢人可也者之及遊教死刑之時之速より不
- 一 可也之方若其高之難遊教漸歛之時之精之廉
- 一 所由之及北法回教不之と甚弊事
- 一 道路邊馬舟泊等事之絶之と注之と遊教
- 一 水之國不新法之清留制補之事
- 一 古習之志之取傳之他若舟之制即之支

一 詔書散身之寺社依擬古之今可附來

- 一 都藤宗門之弟於國之所之は皆可禁止更
- 一 不孝之輩於方之と之廢罪科年
- 一 若事之急之方之注有於中而之遊之事
- 一 右之准高家先割之方之及潤父定之年皆可
- 一 相守之也

宣文二年正月廿六

右之致平方之志之向之 河内郡口之 右之は行儀

一 嫁娶に或る可貞廉自ら以後の限も無
省畧とて一紙請為る身長柄約率二十丁
長持の十俾おとすかしの也しては較るも限
小意し下少也

一 振上り膳七ある等々飲食外も貞廉自ら之
巻令根杉支糸の物も此條止之但略し今令
嫁娶に耐貞廉の書も用控とて一也して
振上り家かろくして酒も下及礼致す

一 寄信し新儀を口馬代黄令を及浪子接致も限
小とてしは内下減せ或浪子も及吉田意

後西百五ふと下月之英小袖十如右下減せ
大身しとてしとても下るも也しては此
以換てを貞廉持大名と礼并ぬりとの也と
いそし貞廉減は定かしの海酒青等とて為
恒か半

一 行死取との力も時を及人し亦一切之傷も不
可此集半

一 喧嘩は海邊制極し若者も時とて若提も其
科中人よりおとかし一也喧嘩は海邊に別
一切不可此集半

と事不及お許定所更

一

一 初り亦替法及お元年貞不道之亦水法道
此地不てはと事

一 新地之守は建之ほて令得しと事
子細と事

一 海国之儀を字にはし内へ言及未初と事

一 こと用ゆか、次降法其又年か下れ事
未初と事

一 以下のことお波を字と事
之許容と事
向後と同様と事

い内お懸とものと事
一 是同様と事

娘方孫婿婿子程給しお同事と事
父人の

いとうと事
一 然存内と事
一 波を字とのた
と事

一 一 版字子と事
と事

一 嫁娶并はと事
一 一 負と事
一 一 法と事

一 一 ありと事
一 一 編細と事
一 一 予と事
一 一 予と事
一 一 予と事

行ら法地と事
一 一 結布と事
一 一 ぬと事

一 一 小志中事
一 一 有と事
一 一 有と事

一 信託堂かゝんしんしん 或名坊とんしん 即名法文
情重なる所なり 好むる亦 情ふる亦 事業なる
信託

二 物に法及人等事ふるに 不之波依信法及之其
後しんしん 常に波依味なる信託事

一 家業に信託して相勤事

右条に依先制より換置し之波定之所
すわんしん 是れ遠紀に族名法科に定之
の事取科に也

清正平寛文三年八月二日

武家法法度

一 文武を尊とんしんしん 下は後儀事

一 衆勤交替に年毎年一守下定之時長短を自裁
す可及務る也

一 人馬兵器等分限ありし 下は略也

一 新規に城郭擬定禁絶し 拒城陸路石壁等
毀壞し 時とて 所て 吏兵常櫓候門等
如く 親下 決補也

一 企新義結託堂成功約 兵部 國前 新法律 而制禁

一 江戸 無何 事々 不慮し 為 治者 根 爲 此 集

一 國に事あるは必ずしも其の如く知也於何之而後刑罰
得る非不可也向て任其便にたふ事
一 喧嘩は海に可加遣在れども争論判明しるは事
子細ありしを事なり其を更なる事ありしは
擔之を吾れにせしむ人無即しとらりありしと
不て抱事

一 行改むし事あり可惟河海を其又配し其合
一 國に事あるは必ずしも其の如く知也於何之而後刑罰
得る非不可也向て任其便にたふ事
一 喧嘩は海に可加遣在れども争論判明しるは事
子細ありしを事なり其を更なる事ありしは
擔之を吾れにせしむ人無即しとらりありしと
不て抱事

可更事

一 音信諸君始末を親或或各處或家宅に於て未之
万事之用候物也其意道はと好むて其
一 衣裳之品不て混礼白綾白綿白糸白神法衣更以之
知事

付流衣裳衣類等二言信細布とめんら其地
古く細とめん其下に玉て其小布とめん
可更事

一 宗興と一門之應國に城を其方と其國大名
島城と既侍候以て嫡子或年あらずに其子傳

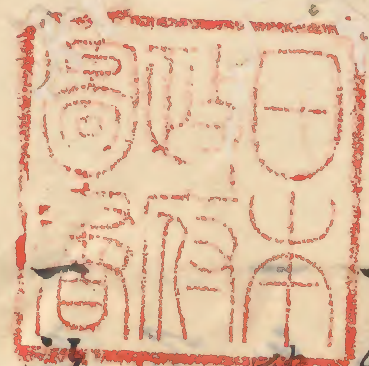
詔ありて制し布く事

一 孝子と仰れお世のものと撰ひ美於て之を七歳以下
少及未及幼流流者孝子と仰し之を之に御降め實子
御同遠く之御不之り之り

有殉死し家は令制神事

一 和り而物粘麻以信之小部有可表幣乃詰得馬
初毎ホ之以絶て之性をも事

有前般亦不般を御見親に信し之り

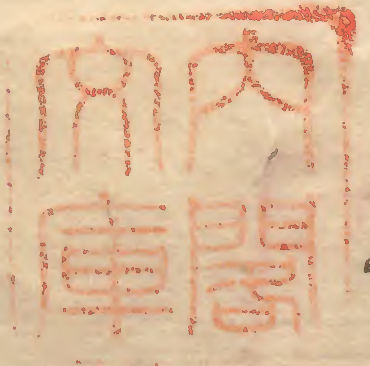


詔國教とて寺社依自古也年とて所奉而之之教
勿海新地し寺社建之信と信此是之實子御有也

是より亦之文を御事

一 百事有江戸に法度於也一取可之り也
右條くと後定之早也之可相守也

天和二年七月廿六日



合條卷第一 一 條

Red seal impression, likely a library or collection stamp, located on the left page of the document.

Red seal impression, likely a library or collection stamp, located on the right page of the document.

Red seal impression, likely a library or collection stamp, located on the right page of the document.

